

領域5 インフォーマルミーティング 議事録

日付：2022.09.13 online (zoom)

出席者：領域代表・副代表・運営委員を含む計 23 名

配布資料：発表スライドは未配布

1. 審議

- 1-1 運営委員の紹介
- 1-2 領域活性化について
- 1-3 オンライン大会の定期開催について
- 1-4 学会の英語化推進について

2. 案内

- 2-1 招待講演・シンポジウム・企画講演
- 2-2 招待講演とチュートリアル講演の区分け

◆審議 1-1 運営委員の紹介

- ・今期代表・副代表・運営委員の紹介が行われた。

- ・来期代表・副代表・運営委員の紹介が行われた。

- ・次々期の運営委員について下記の3名について承認された。

下記の3名を物理学会に推薦予定。

久保田雄也 (理研)

篠北啓介 (京大エネ研)

村上雄太 (理研)

◆審議 1-2 領域活性化について

- ・発表件数について
発表件数の変化について議論が行われた。
領域5全体の講演者数は減少しているが、他の領域と比較すると減少傾向は小さい。
※今期、物理学会会期中に同時に開催されている国際会議の影響で、発表件数が減少している可能性あり。

- ・シンポジウムの企画について

シンポジウム企画を積極的に行っていく必要について説明が行われた。

シンポジウム企画の領域内締切は 10/14。

興味がある分野をまとめて聞けることや他領域との共同研究等のメリットあり。

- ・合同シンポジウムの企画提案について

領域 9 運営委員より、下記の合同シンポジウムの提案があった。

「仮タイトル:先端量子ビームを用いた表面科学研究の最前線(領域 9 (主催)、領域 5)」

合同で行うことについて承認された。

- ・インフォーマルミーティングの出席をとる際の提案

名前と所属の他に、興味のある最近のキーワードも入力し、企画講演のテーマ選定の一助としてはどうかという提案が行われた。キーワードだけでなく、講演を依頼したい方の名前を入力することも提案された。

- ・合同シンポジウムにおける発表者数カウントについて

発表者数は各領域でカウントされる。つまり、主催領域でなくても、同数カウントされるとの説明が行われた。

- ◆審議 1-3 オンライン大会の定期開催について

- ・次回(春季大会)はオンライン開催。

今後も定期的なオンライン大会について検討が行われると説明があった。

- ◆審議 1-4 学会の英語化推進について

- ・物理学会本部としては取り下げとなった旨の報告が行われた。

・領域として英語化を推進するのは問題ないことが説明された。

・英語講演に関して、今回は完全オンラインのため、海外からの講演者を招待してはどうかという説明があった。

- ◆案内 2-1 招待講演・シンポジウム・企画講演

・今期に開催されているシンポジウム、チュートリアル講演・招待講演の案内が行われた。

- ◆案内 2-2 招待講演とチュートリアル講演の区分け

・企画講演提案に関する説明が行われた。招待講演とチュートリアル講演の区分けについて説明が行われた。

※大会申し込み前に、なるべく運営委員に相談していただきたい旨が説明された。

締切は 10/14。